

愛知医科大学糖尿病内科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	糖尿病透析予防指導における問診票を用いた指導効果の評価
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 藤原祥裕
担当科等	内科学講座（糖尿病内科）
研究責任者	（職名）講師（氏名）近藤正樹
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	該当なし
研究の意義・目的	日本栄養士会の糖尿病栄養食事指導マニュアルに準拠した、患者さんの理解度と自己評価についての問診票を作成し、指導前と3回目終了後に配布回収し、指導効果について体組成、血液データの変化と、回収した問診票の回答パターンとの関連を検討することを目的としています。
対象となる患者さん	2018年3月～2020年12月までに糖尿病透析予防指導を行った2型糖尿病患者さん
研究の方法	指導開始時と3回目指導終了時に問診票を配布し、回答があった患者さんを1回目より4回目指導時にBMIが減少した群（改善群）と増加した群（悪化群）の2群に分け、体重、骨格筋量、体脂肪量、HbA1c、血清クレアチニン（s-Cre）の変化及び食事指導による行動変容、食事に対する自己評価について比較検討を行います。副次評価項目として透析移行率や大血管障害発症率との関連も調査する予定です。
研究期間	倫理審査承認日 ～ 2021年5月31日
研究に用いる試料・情報	試料：なし 情報：診療情報から、年齢、性別、糖尿病透析予防指導時の問診票の内容等を使用します。
外部への試料・情報の提供	なし
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。

その他	
問い合わせ先	愛知医科大学 医学部内科学講座 糖尿病内科 担当者：(職名) 講師 (氏名) 近藤正樹 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 22877)